

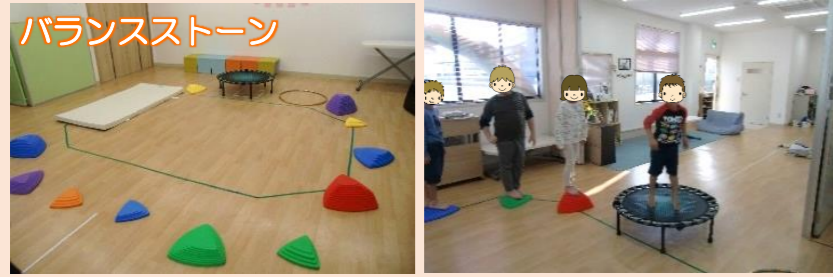


1月のおひさまだよ



あけましておめでとうございます。昨年も新型コロナウイルスで明け暮れた一年でした。これからの季節、空気が乾燥してくるため、インフルエンザやコロナウイルスの感染予防の為に「手洗い・うがい・消毒」を行い、体調管理には十分気をつけましょう。子供たちの健康を第一に、心豊かな体験ができる1年にしていきたいと思っております。新しい年が、お子様にとって、また保護者の皆様にとって笑顔あふれる年になりますよう、お祈り申し上げます。

バランスストーン



新しい運動遊具を取り入れました
みんなで楽しく体幹トレーニングを行っています



チューブブロック

サンタさん
ありがとう



プログラム

- 1.ラジオ体操
- 2.赤鼻のトナカイ
- 3.キンキラポン
- 4.友達になるために

12月27日に本社訪問をしました。
みんな堂々と踊りや歌を披露
することができ、皆様から
大きな拍手を頂きました。

出来立て
ひよこ
おいしかった

ひよこ工場見学



初めての司会
上手に出来ました



クリスマスツリー作り



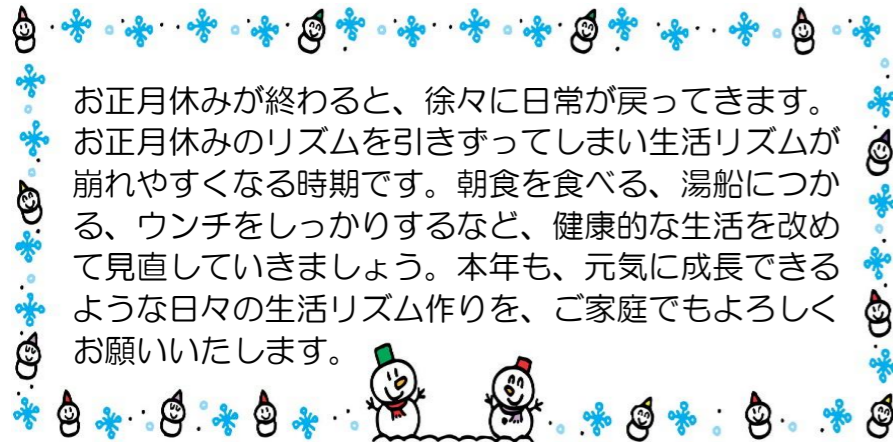
指先を使う訓練



クッキング



お正月休みが終わると、徐々に日常に戻ってきます。お正月休みのリズムを引きずってしまい生活リズムが崩れやすくなる時期です。朝食を食べる、湯船につかる、ウンチをしっかりとするなど、健康的な生活を改めて見直していきましょう。本年も、元気に成長できるような日々の生活リズム作りを、ご家庭でもよろしくお祈りいたします。



ひよこまんだより 令和5年1月号

明けましておめでとうございます。
 今年は会社の創立二十周年を迎えます。
 これも一重に皆様のおかげだと思っております。
 まだまだコロナウイルス感染が
 収まったわけではありませんが、
 職員一同一丸となり、日々予防に努め、
 より一層のサービス向上を目指して
 いきたいと思っております。
 今年も皆様にとって良い年にな
 ります様にお祈り致します。

代表取締役 花元 照美



ヒューマンホールディングス株式会社

〒820-0082 福岡県飯塚市若菜256-77

〒820-0001 福岡県飯塚市鯉田1140-2

もみの木ケアプランセンター
 シニアコミュニティもみの木
 もみの木相談支援センター
 電話：0948-26-8338

おひさま
 電話：0948-21-0777

シニアコミュニティつばき
 電話：0948-29-5366

もみの木 つばき

検索

VOL.138

令和五年 新年のご挨拶

専務取締役 江口 智枝



明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげ様で弊社は今年創業20周年を迎えます。あらゆる業種の企業が非常に厳しい状況に直面しています。私たち社員一同も「利用者様に喜んで頂く」という基本に立ち返って、目の前の出来る事から取り組んで参りたいと存じます。新しい年がより佳き年となりますよう祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

もみの木相談支援センター 重富 美奈子



新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。今年にはこれまで以上に心豊かな一年になりますようお祈り致します。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

シニアコミュニティもみの木 松岡 繁子



謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中はいろいろとお世話になり誠にありがとうございました。年も改まり、皆様にはこれまで以上に心豊かな一年になりますようお祈り致します。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

シニアコミュニティつばき 土居 さゆみ



新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり社員一同、心より御礼申し上げます。本年も皆様に満足して頂けるサービスが提供できるよう、社員一同努めて参ります。新しい年が素晴らしい一年となりますよう、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

もみの木ケアプランセンター 小山 好子



新年明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になり、ありがとうございました。今年には会社創立20周年を迎えます。節目の年を迎え、気持ちも新たに仕事に励みたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い致します。

おひさま 花元 範子



明けましておめでとうございます。新年を迎え、今年こそ穏やかに安心して過ごせる日々が戻りますように願いつつ、私たちは、子供たちに対してできる、精一杯のことに取り組んでいきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い致します。

2022年12月勉強会



健康寿命が伸び、地域の高齢者の方々の状況や生活の有り方が多様化しケアマネジメントにおいて取り扱う社会資源(福祉制度や施設など)の範囲が広がっています。それに伴って、私たちはこれまで以上に幅広く情報を収集・分析し、ケアマネジメントを推進していくことが求められます。しかし、各分野・領域の知見が深まっているなか、ケアマネジャーが1人で全ての領域の知見を身に付けるのは現実的ではありません。そのため「様々な領域の専門職等との円滑な連携に必要な基本的な知識」について学びました。

もみの木ケアプランセンター

『基本的な知識』には、各職域で培われた知見に基づき、想定される支援がわかりやすくまとめられています。「基本的ケア」と「疾患別ケア(病期毎に項目がある)」で構成されており、本来必要なはずのケアの抜け漏れ防止、疾患別の支援内容の検討、利用者様の意思が反映された支援になっているか、等を確認できる仕組みになっています。これらを実務に活かし、利用者様が希望する生活に少しでも近づけるように努力していきます。

もみの木相談支援センターでは、月例研修の内容として久しぶりに「事例検討」を行いました。今回は発達障害のある児童の事例を取り上げました。

もみの木相談支援センター



発達障害といってもさまざまなケースがあり、支援において困難を伴う場合も多くあります。今回は、こだわりが強く、行動やコミュニケーションに課題がある児童の事例でした。このような事例に対する支援の在り方について複数の相談員が意見交換することで、今後の支援の方向性を見出せたり、一人では気付かなかった視点や必要な社会資源などが明らかになることがあります。今後も事例検討を行い、他者の意見を取り入れることで、自身の経験値を高めていきたいと思っております。

今月は「事故防止に繋がる事例の検討」を行いました。

シニアコミュニティもみの木

デイサービスで起こりやすい介護事故や、ホール内だけではなく、大きな事故に直結してもおかしくない送迎時での出来事(ヒヤリハット)を事例として挙げ、事故内容・原因・対策を皆で話し合いました。



ふと目を離した瞬間や、職員の一瞬の気のゆるみが介護事故に繋がります。他職種の職員が集まって様々な目線から原因・対策を話し合うことは、職員の危機意識を高め、事故の再発防止に繋がります。今後も定期的に事例検討を行うことで、職員のスキルアップに尽力し、利用者様が『安心・安全』に利用して頂けるサービス提供を行っていきたく思います。

今月は「介護のマナー」について勉強しました。介護とは、利用者様と長い時間を一緒に過ごし、その人の心身に関わるサービスを提供する仕事です。そのため、「関係性が出来ているから・・・」と職員から利用者様への言葉づかいが緩くなりやすく、目上の方なのにに関わらず敬語が疎かになりがちです。そういったNGマナーは、一つひとつは見過ごしがちでも振り返りをしないまま積み重なれば、大きな問題になることもあります。



NG マナーを放置すると・・・ ①大きなクレームを誘発する
②利用者様の意欲低下に繋がる ③事故リスクが高まる

シニアコミュニティつばき

大切なのは職員が自分を振り返る習慣を身に付けることです。一見遠回りのようでも、振り返りの意識を積み重ねることがより良いサービス提供に繋がりますので、職員一同、努力していきたく思います。

おひさまでは「未学習・誤学習・過学習」について学びました。自閉症スペクトラムのある子は、コミュニケーションがとても苦手で人間関係を構築することが難しいため、経験から学んだこと(=学習)にズレが生じます。



未学習・・・まったく経験がなく、どうしてよいかわからない状態。
誤学習・・・間違った行動なのに「自分にとって都合の良い結果をもたらした方法」として繰り返してしまう。例) 暴れたらお菓子をもらった
過学習・・・一種のこだわり。一度経験したことが残ったままで、日常にも影響する。

おひさま

このような学習を理解した上で子供たち一人ひとりを観察すると、出来ないことの背景や理由を理解できるようになり、「生きづらさ」を共感できます。適切な支援を行うことで、スムーズな行動が出来るようにサポートし、それが正しい経験となって蓄積されると、生きづらさが少しずつ解消されていきます。おひさまでは職員全員が子供たちの成長を喜び、認めるような支援を心がけていきます。